

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	ジャパン福岡・ペプシコーラ販売(株)
所在地	福岡市博多区金の隈 1-36-2
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	卸売業、小売業
電話番号	092-503-6123
ホームページ	—

Well-being 向上 に向けた取組み	1. 会社員の体調確認のため、業務開始、終了時に、体温測定、アルコールチェックを安全運転委員、衛生委員にて行っている。衛生会議から産業医へ報告している。 2. 労働時間などの長時間化を削減するため、夕刻の積荷準備の際、作業アルバイト及び社員（外国人、高齢者の雇用を行う）に電話連絡にて事前にピッキング準備をして短時間化をはかっている。 3. シフト型勤務及びフレックスタイムを導入しており、勤務時間の効率化をはかっている。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：

ジャパン福岡・パプシコー販売(株)

カテゴリ	チェック項目	3側面該当		具体的な取組	関連する主なSDGs																	
		環境	社会		経済	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	外国人雇用 正社員及び学生はアルバイト雇用を実施している。 高齢者雇用 嘱託雇用により全員65歳までの継続雇用としている。さらに、嘱託雇用の延長により、双方合意の上、満70歳までの雇用を実施している。 女性雇用 求人等においても職種にかかわらず、男女の区分、年齢制限も設けていない。出産育児休業の利用促進等により男女の均等雇用を促進している。								○		○	○						
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	介護育児休業制度の利用強化 少子化対策に応じて、産休・育児休業の利用促進を行い、男女ともにすでに4名が利用し、育児を進めている。フレックスタイム、時差勤務をシフト勤務への導入により就業規則にも盛り込み、合理的・効率的な労働時間を指導している。								○		○	○						
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	ハラスメント防止のため、就業規則上にも盛り込み、対策委員を設置して社内外の事情内容を社内回覧もしている。また、執行役員に労務士を置き、事象を報告するとともに指導を受けている。								○		○	○					○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	長時間労働の防止のため、日々の勤務状況、労働時間状況を集約し、月間途中でも常に長時間になる可能性のある社員に対して、指導・相談を行っている。また、定期健診の全員実施とメンタルヘルスチェックを行っており、衛生委員、産業医により、個別相談・指導等を行っている。								○		○							
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	人材育成に向け、社内外での研修機会を設けており、社内案内を行い、特に、業務上必要な取得等に別途手当を支給し、促進している。									○	○		○	○				
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	事業の取り扱い製品がカン・ペット等の製品の為、空容器の回収は業務上の必須項目である。行政の法定等の方法に沿った資格を持つ業者との契約を行い、リサイクル、リユース等の比率を高めている。								○		○			○	○		○	
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	CO2ガスの排出削減のため、社構内のリフトはすべてEV化としている。車両等についてもアイドリング時間の短縮と空ぶかしを制限している。蛍光管は、自動販売機も含めてLED化を進めている。										○			○	○			
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	天然資源である紙の再利用、使用削減を回収も含めて強化している。また、製品の段ボールや空容器もリユース・リサイクルを実施している。								○					○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○	○	○	特に、飲料用(水)の備蓄等の連携契約を行政機関と結び、不足時、緊急時の対策に協力できるようにしている。									○								
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	取扱製品の発注の小ロット化での入荷を心掛け、また、賞味期限の管理を日々行い、消費者への賞味期限切れ製品の提供が全社とも、各自販機でも生じていない。								○					○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	災害時等の対策として、行政機関や地域との連携を図り、緊急用飲料の備蓄製品等の提供を行っている。また、災害時に弊社自動販売機等の製品がフリーで提供できる対策も行っている。 いろいろな被害者への支援を目的として、企業、地域、行政等と提携し、寄付付き仕様の自動販売機の設置を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○	○	○	個人情報に係る資料等は、最小限に限定し、かつ、保管については管理責任者により専用の保管金庫を設置している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○	○	○	業務上の車両運用をはじめ、各種の法令に従い、特に車両については、安全管理者委員会により、ドライブレコーダ等も搭載活用し、日々、安全や法令順守への教育、チェックを行っている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○	○	○	経営理念の掲示、および目標等の社内通達は、月次3回の会議により、基本伝達し、さらに回覧を行って周知している。											○	○					○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	BCP対策として、グループ事業所間の連携を常々行っており、事故や災害時の対応や連絡ができるように管理者同士の会議も行われている。											○		○	○			○